

広島文教大学
学長 森下 要治



未来を志向する 「育心育人」教育

今年もまた、文教の新しいお仲間を迎える季節となりました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、新年度を迎えて「学年の進んだ」在学生のみなさんにも、「ご進級の慶びをお伝えします。

私たちの社会は危機に直面していると言われます。地球環境の急激な悪化、大規模災害、パンデミック、民族間の紛争や軍事衝突など、現代社会を根幹から揺るがす出来事の頻発がこうした危機意識の背景にあるのでしょう。破綻の危機に直面するこの時代にあって最も重要な問いは「私たちはいかにしてよき祖先となるか」であると、英国の思想家ローマン・クラック



充実した大学生活を

学校法人 武田学園
理事長 武田 義輝

春の穏やかな日差しが降り注ぐなか、今年も本学に新たな学生を迎える季節となりました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新しく始まる生活に胸を躍らせていることと思います。これからの4年間は長い人生の土台を作る貴重な時間です。学生時代にしか学べないこと、体験できないことが沢山あります。これまでに経験したことのない新たなことにも勇気をもって挑戦してみてください。

本学は約3年前に観光地として有名なフィリピン・セブに姉妹校「ラブラブセブ国際大学」を設立しています。この大学は英語力に自信のない学生や高い語学力を持つ学生でも幅

広く学べるように、また、英語学修だけでなく、様々な国の人と交流し、異文化を理解するための仕組みが多く取り入れられています。そして何より、円安で留学費用が高くなっているなか、本学の学生は格安の料金で留学することが出来ます。留学でしか得られないことも沢山ありますので、一人でも多くの学生が留学にチャレンジしてもらうことを願っています。

4年後に本学を卒業する時に、充実した4年間だったと胸を張って言えるよう、日々を大切に過ごしてください。そして、卒業後は社会に携わる一人として活躍できる人材となっていることを心から願っています。

HIROSHIMA BUNKYO NEWS 広島文教通信 vol.89

発行所



志す、こころ深く、
広島文教大学

〒731-0295
広島市安佐北区可部東1-2-1
Tel:082-814-3191(代表)
Fax:082-815-6801

CONTENTS

- 1 理事長挨拶 武田 義輝
- 1 学長挨拶 森下 要治
- 1 海外姉妹校「ラブラブセブ国際大学」への留学について
- 2 第62回文教祭活動報告
- 3 学生の課外活動特集
- 4 美樹会会長就任挨拶
- 4 学生表彰者一覧
- 4 大学ランキング紹介
- 4 令和6年度教員採用試験・合格実績
- 4 学園財務報告
- 4 学園へご寄附のお願い
- 4 文教の今を発信中

フィリピン・セブ 海外姉妹校「ラブラブセブ国際大学」への留学について

「ラブラブセブ国際大学/Lapulapu-Cebu International College(以下LCIC)」はフィリピンのセブ・マクタン島に2021年9月に開学しました。外国語学部、ツーリズムマネジメント学部、理学療法士学部の3学部を開校し、現在3年目を迎えた大学です。2022年6月より留学の受入れを開始し、これまで約80名の文教生をはじめ、日本、台湾、韓国などから多くの学生が留学しています。留学した学生からは、留学費用が安価で、学内行事や寮生活で様々な国の学生と交流ができ、とても楽しいと好評です。



LCICでは、留学生専用のプログラムを用意しています。レベル別のクラスで、大学の授業として英語を学ぶことができます。さらに英語力を高めたい方には、現地学生の学部授業の聴講や英語教員による「One-On-One(別料金)」、フィリピンの学生による個人レッスン「StudentBuddy system(無料)」の受講もお勧めです。また、中国語、韓国語、タガログ語の外国語授業(初級のみ)を受講したり、体育科目としてセブのきれいな海でスキューバダイビングの免許を取得したりすることもできます。寮はシェアハウス型で、各国の留学生と共同生活を送りながら異文化交流ができるメリットもあります。

本学では、できるだけ多くの学生に、国際社会をたくましく生き抜くための異文化理解力や語学力を身につける、生きた学修の機会を提供したいと考えています。

広島文教大学2号館1階には
LCICジャパンデスクのコーナーを設置しており、
LCIC留学に
関する相談を随時受け付けています。

美樹会会長就任挨拶

第46回美樹会総会・同窓会(令和5年11月26日)にて、白根 悦子氏が同窓会長に就任されました。



私こと、令和6年度より美樹会会長を拝命いたしました。在学中は多くの先生方や友人に支えられ、充実した大学生活を送り、就職・転職を経験した後、教職に就くという夢を叶えることができました。昨年は、美樹会総会に久しぶりに出席し、改めて母校に感謝の気持ちでいっぱいになりました。次回総会(令和7年予定)で皆さんにお会いできることを楽しみにしています。ご恩返しのため尽力してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

白根 悦子 文学部 初等教育学科 14期生

令和4年度 財務報告(学園全体)

貸借対照表(令和5年3月31日) (単位:円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	12,290,400,899	12,340,702,702	△ 50,301,803
有形固定資産	8,603,559,180	8,851,856,182	△ 248,297,002
土地	2,866,697,314	2,866,697,314	0
建物	4,003,615,191	4,182,362,249	△ 178,747,058
その他の有形固定資産	1,733,246,675	1,802,796,619	△ 69,549,944
その他の固定資産	3,686,841,719	3,488,846,520	197,995,199
流動資産	1,949,648,862	1,880,823,941	68,824,921
現金	1,762,925,332	1,722,218,165	40,707,167
その他の流動資産	186,723,530	158,605,776	28,117,754
資産の部合計	14,240,049,761	14,221,526,643	18,523,118

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	3,083,584,983	1,351,557,775	1,732,027,208
長期借入金	2,738,120,000	1,001,690,000	1,736,430,000
その他の固定負債	345,464,983	349,867,775	△ 4,402,792
流動負債	567,418,417	2,463,496,619	△ 1,896,078,202
短期借入金	63,570,000	1,863,570,000	△ 1,800,000,000
その他の流動負債	503,848,417	599,926,619	△ 96,078,202
負債の部合計	3,651,003,400	3,815,054,394	△ 164,050,994

純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	16,987,650,136	16,883,931,110	103,719,026
第1号基本金	16,761,050,136	16,657,331,110	103,719,026
第3号基本金	56,600,000	56,600,000	0
第4号基本金	170,000,000	170,000,000	0
繰越収支差額	△ 6,398,603,775	△ 6,477,458,861	78,855,086
翌年度繰越収支差額	△ 6,398,603,775	△ 6,477,458,861	78,855,086
純資産の部合計	10,589,046,361	10,406,472,249	182,574,112
負債の部及び純資産の部合計	14,240,049,761	14,221,526,643	18,523,118

(注記) 1.減価償却額の累計額の合計額 8,830,397,067円
2.徴収不能引当金の合計額 510,000円
3.翌会計年度以降の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額 683,736,310円

ご寄附のお願い

各学校の教育・研究活動の充実、学園生への学修支援および施設設備の改善充実等を図る目的で、「武田学園教育振興寄附金」を募集いたします。経済情勢の厳しい折ではございますが、本募集活動の趣旨にご理解とご賛同をいただきまして、寄附金募集に何卒温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

<個人の方>一口1,000円(3口以上何口でもご寄附いただけます。)
<法人の方>一口10,000円(何口でもご寄附いただけます。)
詳細はホームページをご覧ください。
<https://www.h-bunkyo.ac.jp/university/region/donation/>

学 | 生 | 表 | 彰 | 者 | 一 | 覧 |

令和5年度 卒業生6名・在学生8名が表彰されました。

学術活動において、特に顕著な成績を上げた者と認められる者

- 教育学科 中等教育専攻 新田 希穂 | ●人間福祉学科 永井 園華
- 心理学科 西原 彩生 | ●人間栄養学科 川村 菜摘
- グローバルコミュニケーション学科 奥村 正彦

社会活動において、特に顕著な功績を残し、社会的に高い評価を受けたと認められる者

【令和5年5月開催のG7広島サミットでの通訳学生ボランティアとしての活動】
●教育学科 中等教育専攻 堀江 奈々

課外活動において、特に優秀な成績をおさめ、課外活動の振興に功績があったと認められる者

書道部【「2023書道パフォーマンス・カーター大会inこうぬ」において「ジミー・カーター平和大賞」を受賞】

- 教育学科 初等教育専攻 片山 智貴 | ●教育学科 初等教育専攻 阿部 日南乃
- 人間福祉学科 福田 日菜乃 | ●人間福祉学科 古屋 光那
- 教育学科 初等教育専攻 秋定 柚香 | ●教育学科 初等教育専攻 鎌田 一希
- 教育学科 初等教育専攻 平川 友梨奈 | ●教育学科 中等教育専攻 山田 龍

大学ランキング

「大学探しランキングブック2024」(大学通信)掲載の各項目で、本学がランクインしました。

《2023年広島県内大学実就職率》

「小学校教諭」第1位 : 「保育士」第1位

全国の高等学校の進路指導教諭が「面倒見が良い大学」第2位
評価する大学ランキング 広島私立大

令和6年度教員採用試験・合格実績

今年も公立学校教員採用試験で、広島県をはじめ中国・四国、九州地区で多くの合格者が出ました。

「小学校教員採用試験」 : 「中学校・高等学校教員採用試験」 : 「公立幼稚園教諭・保育士採用試験」

57人 : 17人 : 16人

令和5年12月11日現在(本学集計分)

文教の“今”を発信中!!

広島文教大学 ホームページ

広島文教大学が運営するWEBマガジン「cocorozasu」

広島文教大学 検索

学生 | の | 課 | 外 | 活 | 動 | 特 | 集

教育学科音楽専修・音楽ゼミ

ジャレオコンサート

西本 勇輝
教育学科 初等教育専攻
2024年3月卒業



活動概要

教育学科音楽専修・音楽ゼミは、近隣の保育所や附属幼稚園への音楽ボランティア活動や卒業演奏会、そしてジャレオ大学生コンサートなどの活動があり、音楽と共に成長できるゼミです。

気づいたことや得たもの

ジャレオコンサートの出演は広島文教大学の代表として、特に音楽を専門とする者として責任が大きいですが、今まで先輩が驚いできた伝統でもあるため、半端な練習はできません。しかし、本気で練習するからこそ本番での感動や達成感を味わうことができることがわかりました。



印象に残っていること

2年生から4年生合同の合唱を行う際、みんなが本気で練習に取り組み、よりよい演奏にするため、先輩後輩関係なく意見を交換していました。そのような練習を繰り返すことで、絆の繋がりが強くなったと感じました。本番では涙する学生もおり、頑張ってきた良かったと思えた瞬間でした。

文教生みなさんにメッセージ

音楽専修・音楽ゼミはたくさんの演奏の場がありとても楽しいですが、その分大変なこともあります。でも必ず「このゼミで良かった」と思える瞬間が来ます。その瞬間を味わうために、教育学科の学生は、ぜひ音楽専修・音楽ゼミを検討してみてください!

かわなみ観光大使・SDGs研究会

福田 晴佳
グローバルコミュニケーション学科 4年



活動概要

かわなみ観光大使として、美しい景観と自然が楽しめる太田川沿いの約 50 km のサイクリングコースをプロサイクルードレースチーム「ヴィクトワール広島」の選手と伴走しました。コースの中間地点には久地収権祭というイベントも開催されており、SDGs研究会のメンバー6名で活動のお手伝いしました。

気づいたことや得たもの

私は安佐北区に住んでいますが、大学周辺の街のことしか知りませんでした。しかし、この活動を通じて、筒瀬橋や安野花の駅公園など、今まで知らなかった安佐北区の素晴らしい街並みを見ることができました。

NEWS!

広島文教大学は令和5年11月1日に、この大会の主催者である広島安佐商工会と包括連携協定を締結しました。地域振興や本学学生の教育等のさらなる推進を図っていきます。



印象に残っていること

これまで自転車で長距離を走るといった経験がなかったため、50kmを走り切るのには難しいと思っていましたが、みなさんが声をかけてスピードを合わせていたり、応援をいただいたりして、無事に完走することが出来ました。安佐北区の風景を見ながら涼しい風を肌で感じ、とても気持ち良く、完走した後の達成感も素晴らしい、また参加したいと思いました。

文教生みなさんにメッセージ

SDGs研究会では、SDGsに関する研究はもちろん、かわなみサイクリングイベントのサポートをはじめ、食品ロス削減活動や海洋プラスチック回収運動など、地域を盛り上げる様々なボランティア活動を行っています。ぜひ一緒に活動しましょう!

「こころと賢く付き合おう!」

大人のための心理学講座」のサポート

作野 春奈
心理学 4年



活動概要

可部公民館と広島文教大学の共催での公開講座「安佐北アカデミー学び場」で、田村先生の心理学講座を受講している参加者のみなさんをサポートしました。講座の後半にワークをする時間があり、田村ゼミの有志メンバーが加わり、参加者のみなさんの質問にお答えするなどして交流しました。

気づいたことや得たもの

活動を通して、心理学を教える楽しさを感じました。また、自分たちが学んだことを他の人に伝えることで、改めて心理学について学ぶことができ、より理解が深まり、以前よりも心理学が好きになりました。



印象に残っていること

講座の途中から参加された方がいらっやして、終わりに際「もっと早く来たかった。いい先生に心理学を教えてもらっている参加者のみなさんをサポートした。講座の後半にワークをする時間があり、田村ゼミの有志メンバーが加わり、参加者のみなさんの質問にお答えするなどして交流しました。」

文教生みなさんにメッセージ

心理学について人に伝える・教えるということはあまりないと思います。私自身もこのような活動に初めて参加して、学んだ知識を生かしたり、新たな知識を吸収したりすることができ、とてもいい経験になりました。心理学って楽しいですよ!

“ファーストベンギンになろう”講座参加

藤堂 咲弥
教育学科 中等教育専攻 2年



活動概要

学生生活の中でも、新しく何かを始めるには勇気が必要で、学生が新しいことに挑戦し、企画実現に向けてリーダーシップを発揮する為に、全6回の講座を通して、その最初の第一歩を踏み出すために、大切なことや自分自身の思いを見つつけ、「企画」というカタチにしていく活動です。

気づいたことや得たもの

企画書作成が思った以上に大変でした。企画とは人を巻き込むことであり、たくさんの人の協力を得る必要があります。やりたいことを実現するためには、詳細かつ具体的な相手に伝える必要がありました。そのため、講師の先生や参加者の皆様からの意見を参考に何度も修正をしたり、より調べて情報を加えたりしました。



印象に残っていること

企画内容を共有した際、他の参加者から出た企画案が自分では考えつかないような内容だったことです。企画の多様性に驚き、自分の想像を超える様々な形やジャンルの企画があることに気がされました。

文教生みなさんにメッセージ

ファーストベンギンの活動を通して、やる気をもって、上手に工夫をすれば自分のやってみたい企画が実現出来ることを知ることが出来ました。みなさんも、ぜひやってみてください。興味があることに挑戦して行動してみてください。その経験は自分自身を大きく成長させてくれるはずです!

中国新聞キャンパスリポーター

2023年度 中国新聞キャンパスリポーター賞「奨励賞」受賞

庄野 愛梨
教育学科 初等教育専攻 4年



活動概要

大学内のイベントや授業などを取材して記事にしています。書いたものは中国新聞の朝刊やセレクト、中国新聞デジタルに掲載されています。

中国新聞 キャンパスリポーター

気づいたことや得たもの

この活動を通して他学科のことを知ることができました。「へえ、こんなこともしているんだ!」という気づきがあったりとても面白いです。他学科の先生から色々なお話を聞くこともできて楽しいです。これまで聞けなかった先輩と仲良くなったこともあり、

印象に残っていること

1年生の時に取材した、初等教育学科38期生の卒業発表の合唱です。取材させていただいた4年生から、コロナ禍で大変だったこと、色々な人の繋がりがあって合唱がラジオで放送されること、共学化前の学科の様子など、様々なことを教えていただきました。合唱を必ず歌わせたいと、先輩方が一生懸命にお話されている姿が今でも忘れられません。

文教生みなさんにメッセージ

「記事読んでよ!」「実習先で声かけてもらっ!」と色々な方からいただく声が、一番励みになっています。私は文章を書くことが好きでこの活動を始めました。取材をするのは大変ですが、これまで取材をしてきて、友達も先生も職員の方も先輩方も、文教には優しい人ばかりだと感じています。書くことが好きな人、文教を多くの人に知ってもらうために一緒に活動してみませんか?

キャンパスリポーター記事一覧(2023年3~12月掲載分)

庄野 愛梨

- 3/23 SDGsの研究を発表 -学外で初めて、貴重な体験- 広島陵北ロータリークラブ例会でのSDGs研究会の発表を取材。
- 5/28 新入生に部の魅力を伝える -「パフォーマンスウィーク」開催- 学友会主催の新入生歓迎イベントに出演したフォークソング部を取材。
- 6/15 作物栽培の大家が体験 -イモの苗植えや畑づくり- 人間栄養学科の学生たちによる作物栽培を取材。
- 7/13 余った食品 無料で配布 -レトルトカレーなど250品- SDGs研究会のフードロス0活動を取材。
- 10/5 学生の悩み聞く活動 充実 -ゲームやクイズ 企画人気- 心理学科4年生の「カインドネスルーム」を取材。
- 10/22 平和公園でフィールドワーク -サークル初の開催- 平和とサークルのフィールドワークを取材。
- 11/23 育てたサツマイモ 菓子里に -「文教祭」の模擬店で販売- 人間栄養学科2年生のレシピ開発、大学祭での販売を取材。
- 12/21 教員採用試験の報告会 -4年生、下級生に対策紹介- 教育学科の教員採用試験受験報告会「願晴(がんばり)の会」を取材。

坂本 葵唯 教育学科 初等教育専攻 3年

- 8/31 学内ツアー 学生がガイド -寮では門限やルール説明- オープンキャンパスでの淳風寮見学ツアーを取材。

第62回文教祭 活動報告

令和5年11月4日(土)、「彩~文教祭の楽しみ方って200色あねん~」をテーマに第62回文教祭が開催されました。新型コロナウイルス感染症による制限がようやくなくなり、飲食の模擬店や芸能人のゲスト出演も4年ぶりに復活し、当日は本学学生を含め、およそ1,500人という多くの方がご来場くださいました。文化系サークルや有志によるステージ発表、大学祭実行委員会企画のカラオケ大会、ピンゴ大会、文教生の主張、そして吉本芸人さんによるお笑いライブと大いに盛り上がりました。



学生生活支援委員会
文教祭担当
棚田 裕二 准教授

2023年度第62回文教祭が盛大に開催されたことを大変嬉しく思います。当日は多くの学生や地域の方々などにご参加いただき、笑顔と活気に溢れた文教祭になりました。4年ぶりにゲストを招いたステージ企画や飲食を伴う模擬店、地域の方々の来場など、大学祭実行委員会のメンバーだけでなく、大学全体として取り組んできた結果が当日に現れたのではないのでしょうか。次年度も素敵な文教祭にしますので、皆様のご参加をお待ちしております。



第62回文教祭実行委員長
心理学科 4年
藤中 莉乃

昨年の第62回文教祭は、コロナ禍が明けて初めての開催でした。飲食の模擬店も再開し、うどんやフライドポテトなど16の出店があり、とても賑わっていました。ゲストには、ジョーダンさん、ネルソンスさん、プラス・マイナスさん、メンバーさんにお話しいただきました。他にも、人気のカラオケ大会やピンゴなども行い、学内だけでなく、地域の方々にも楽しんでいただくことができました。最高の文教祭を開催できたので、今年度も頑張ります!



大学祭実行委員 メンバー募集!!

第63回文教祭実行委員長
教育学科 初等教育専攻 3年
福田 凌也

ご入学おめでとうございます。大学祭実行委員会では、ステージ企画を行ったり、模擬店を運営したり、飾りつけを行ったり、ゲストの方を決めてお呼びしたりすることが主な仕事です。堅苦しいように思えるかもしれませんが、楽しく話し合い、協力し大学祭を成功させるための集まりと捉えてください!一年間かけかけたことが形になり、成功する達成感は表現できないくらい嬉しいです!まずは見学だけでもいいのでぜひお待ちしております!



模擬店 PICKUP!

人間栄養学科



松本 知佐 人間栄養学科 3年

模擬店紹介

文教チャレンジの制度を利用して、循環型農業の研究のため、サツマイモを育てました。そのサツマイモを使って、自分たちでレシピ開発したスイーツを作り、販売しました。取り組みについての展示も行いました。

気づいたことや得たもの

レシピ開発をすることの難しさや大変さを経験しましたが、それを上回る程、自分達が頑張ってきたことが形となり多くの人のもとへ届いたことへの感動がありました。そのことで、一生懸命やったことは必ず誰かのもとに届くということに気づけました。

印象に残っていること

予定より早く売り切れた商品も数多くあり急遽、調理、販売を追加して行いました。また、「美味しかった!」「レシピを覚えて欲しい」といった声があり、自分たちが予想していたよりも多くの方々に、ご好評いただきとても嬉しかったです。

文教生みなさんにメッセージ

今回の活動を通して、自分自身が成長したと感じました。仲間と試行錯誤しながら、取り組んだ日々は、新たな発見もありとてもワクワクしました。何事にも全力で挑戦することが大切だと思います!そうすると必ず結果は返ってきます。

人間福祉学科



岩本 航平 人間福祉学科 4年

模擬店紹介

人間福祉学科同級生37名でレモネードスタンドを実施しました。レモネードスタンドとは、レモネードの売上を小児がんやAYA(思春期・若年成人)世代のがん治療のために寄付する活動です。また、多くの人に小児がんについて知ってもらおうと啓発活動、募金活動も行いました。

気づいたことや得たもの

仲間と共に同じ目標に向かって進むことの大切さと集団をまとめることの難しさです。想像していたよりも多くの同級生がこの活動に参加してくれたので、みんなと意思疎通するのに苦労しました。しかし、みんなとたくさんレモネードを売るという目標を達成したときの高揚感は忘れられません。

印象に残っていること

一つ挙げるとするならば、前日までレモネードの味が決まらなかったことです。最初は同級生二人と試作をしていましたが、とても飲めるものではありませんでした。結果的に、他の同級生が手伝ってくれて事なきを得ましたが、今思い出してもヒヤヒヤします。

文教生みなさんにメッセージ

動機がどうであれ、一人でも多くの命を救える手助けができることはとても素晴らしいことです。興味があればチャレンジしてみてください!今なら、レシピも無料で差し上げるので、誰かがこの活動を続けてくれたら嬉しいです!